



善正寺だより

掲示板法話

どうせ死ぬのになぜ生きる？

生の意味、死んでも悔いなしという人生を賜る



明けておめでとうございませう。大切な家族を亡くされた方、老いや病いを背負って辛い一年を過ごした方々も多々おありでしょう。この世はまさに娑婆世界、「他人事が我が事となる浮世かな」の句が思い浮かびます。脳こうそくを患ってリハビリ中の人が訪ねてこられました。奥さんも自宅で転倒して手首を骨折し、しばらく車の運転ができず、ようやく慣らし運転できるようになった機会にご報告方々お揃いで来られたのです。

手が不自由な奥さんの指示により、リハビリ中のご主人が家事の手伝いをします。「これもリハビリのため」と心得て慣れない炊事の手助けをするとは何と微笑ましいことか、と話が弾みました。その時、ふとご主人が「いつか死ねばならぬ自分が、リハビリに一生懸命になって何の意味があるのか、と時々思うのです」と漏らされました。はっとしました。

どうせ死ぬのになぜ生きるのか？これは心の奥底から発せられた重大な問いです。半端な話ではできません。「これこそ、仏法に聞かねばならぬ

〒:512-0902
三重県四日市市
小杉町1014
浄土真宗
本願寺派
善正寺
TEL:0593-31-1670
FAX:0593-32-0733

根本的な問いですね。病氣のお蔭ですね。つらい病氣にもお蔭さまと言え、世界に目覚めることができたのだから、今まさに親鸞さまの教えに導かれている人生の真つただ中ですね。この身のまま、み仏の御手の中のいのちと受け止めて生きていける。死んでも悔いなし、という人生を賜る。これほど意味のある人生観が開かれるとは幸せ者ですね。この会話がご縁となつて、老苦、病苦とともに死苦を超え、それを亡き父の言葉から思い出し、生きています。

亡くなる二日前、忘年会から帰った夜半過ぎ、父は坊守から身の回りの始末をもらい横になった直後でした。枕元へ顔を出した私を見て、「起きてくれ」というしぐさと共に「有難う。京都(のご本山へ)一緒に行って(くれて)有難う。よかった。親鸞さん(の教えに)遇えて、よかった」と途切れ途切れの声が聞こえました。この半年前全国布教同志会会長退任の大会に出席する父に付き添い、勤務を休んで三日間ご本山へ同伴したのがよほど嬉しかったのでしよう。何と

☆行事ご案内☆

『元旦会』&『御正忌お朝事』

元旦会:1月1日朝9時 新年のスタートは寺で!

お朝事:1月13日~16日朝7時

本堂で正信偈、住職法話、茶話会等。身の引き締まる4日間真宗門徒のプチ修行!あなたも是非ご参加下さい

◇除夜の鐘:12月31日夜11時45分より

誰でも撞けます。全員になまんだぶ煎餅進呈、元旦会は子供にお年玉用菓子進呈。大人は庫裏で親睦会

◇絵手紙教室 1月12日(火)午前10時 庫裏食堂7回目

◇キッズサンガ 鐘つきは毎夕5時年中無休。1月のお経練習無

◇三重組コーラス1/28午後 西勝寺様で練習、

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設7年5か

月で19万2千訪問、一日約80訪問以上、悩み相談、大歓迎!即返信

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話

新刊法話集『たつた一つの道』(自照社、800円+税)発行

親鸞聖人750回大遠忌法要平成28年5月15日(日)午後

(緊急)お稚児さん大募集参加費5千円、申込みは寺まで

◇来年4月16日(土)午後1時「初参式」赤ちゃん募集!

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事の場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

も「親鸞さまに遇えてよかった」という父の言葉が心の奥底に重く残りました。この遺言となった言葉をいよいよ真剣に問い続けねばならない、と覚悟新たに新年を迎えました。

今年も親鸞聖人七五〇回大遠忌法要をお勤めさせて頂く年。亡父の二七回忌をお勤めさせて頂く年でもあります。子や孫たちにも「親鸞さまに遇えてよかった」と言える人間に育ってほしい。それには私自身がお念仏に生かされる姿を生かねばならない。生死の意味を親鸞さまに聞き開く年でありたいと願っています。

写真アラカルト



お内仏報恩講、キッズサンガ等



2015.12

坊守スケッチ

未来への橋渡し

いよいよ親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の新年を迎えた。五月一日の法要まで百三十日余りとなった。寺に嫁いで三回目の大法要。おそろく私にとって最後の大法要となるだろう。

今回の大法要を勤める意味を私なりに問うてみた。世界各地でテロが勃発し、いつ私の周囲にも飛び火してくるか分からない不穏な時代。『安心』できる境地は一体どこにあるのか？いや日本は大丈夫、戦争など巻き込まれないと高をくくってははいないか？その他にも深刻な環境汚染、エネルギー不足、人口減少、過疎化、少子高齢化、介護地獄など、考えたら不安材料ばかり。どこに明るい未来が開けるのだろうか？しかし嘆いてばかりではいけない。今さえよければ、自分だけ良ければでは、未来の子供や孫の時代にツケを回し無責任ではないか？

ノーベル賞を受賞された大村智先生の言葉に、この問題を解くヒントを見つけた。大村先生は二億五千万人の貧しい国の人々を熱帯病から守った。自然の恵みをコツコツ採集することから始められた地道な作業。先生の信条は、人の役に立つ仕事をする事。先生の珠玉の言葉を少し紹介しよう。『歴史を学ぶと明日が読めてくる』『未来の人材育成こそが大切！』『親子や師弟間の縦の繋がりでだけでなく、産学連携等の垣根を越えた横

の繋がりを持とう！』。

先生は自らの功績を独り占めすることなく、世の為人の為に使われた。親鸞聖人が生きられた時代は、想像を絶するほど貧しく悲惨な時代。聖人のみ教えが七五〇年の時を経て私の元に届けられたのは、ご先祖がそれを繋いで下さったおかげ！浄土真宗の歴史に向き合い、各時代に生きた人々のご苦勞を学ぶと、今私が果たすべき役割が微かに見えてきた。聖人のみ教えを次世代に繋ぐご法要でありたい。



ホットニュース

◇一縁会テレホン法話の16冊目の法話集『たつた一つの道』(自照社刊 800円+税)が発行。9人の執筆者 善正寺からは住職・坊守・若院が参加) ◇三全仏教婦人会主催『初参式』の赤ちゃん・幼児を大募集中！来年4月16日(土)午後1時より善正寺にて。お稚児さんの一か月前ですが合わせしてお申込み下さい。参加費千円。

お稚児さん大募集!

平成28年5月15日、親鸞聖人750回忌法要(5か月半後)の御稚児さん大募集!参加費5千円。あと5か月、出足が鈍く少数。ご協力下さい。

◇第7回絵手紙教室1月12日(火)午前10時より。庫裏食堂で。終了後はお茶会。参加者少数につき大募集!

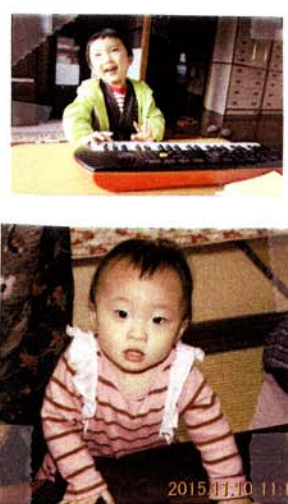
☆若院夫婦の『育自な毎日』その15

長女は一歳一か月、最近おしゃべりが上手になりました。「お父ちゃん」「お母ちゃん」等、中でも一番驚いたのが「ハロー」!それは長男の子供用英語教材の音声ガイドの真似です。ただいたずらが多くて、顔を引っつかいたり、引き出しの物をあさったりするので大変。「片づけ」と言えば元に戻しますが、すぐにまた出す始末。

長男は最近片づけを率先してやり、妹に指導することもあります。幼稚園では給食を全部食べると手に花丸を描いてもらえます。そのおかげで残さず食べられるようになりました。

「今日も花丸描いたら嬉しそうでしたよ」と先生が言っておりました。四月は幼稚園に行くのを嫌がっていたのですが、半年でここまで成長するのかと驚く次第です。我が子が親のみならず、世間の沢山の人のおかげで成長していくことに気づきました。

私達の日記は親馬鹿なことばかりでお恥ずかしい限りですが、子供たちの近況報告を、来年も続けていきたいと思えます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(潤爾・由佳)



【平成28年度善正寺主なる年間行事】

- 1/1朝9時『元旦会』本堂・正信偈
- 1/13 3/16 朝7時『お朝事』
- 3/19(土)・20(日)『春季永代経』(加藤学人師・桑名)
- 4/16(土)午後・三全仏婦主催『初参式&降誕会』(加藤幸子師・津)
- 5/8(日)午後、法要準備作業全員
- 5/15(日)『親鸞聖人七五〇回大遠忌法要』午後一時稚児練、音楽法要、講演(河内美舟先生・山口県)
- 5/29(日)午前 門信徒会総会
- 8/20(土)・21(日)『秋季永代経』(加藤正人師・桑名)
- 11/2午後・夜、3午前・午後仏婦
- 『報恩講』(守快信師・滋賀)
- 11/23午前『秋勧進』
- 12/3(土)夜『お内仏報恩講』
- ※毎月の例会は原則として第3日曜日の夜7時半より

カンパありがとう

高橋智恵子様、伴野節子様、川内八重子様、澤田美智江様、松岡愛子様、他匿名様より頂戴。感謝

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第二六五号をお届けします。◇新年おめでとうございます。本年もどうぞご愛読下さい。◇夕方の鐘つきに集まる子供の交通安全のため、地域の役員の方から安全標識を設置され、併せて感謝の言葉まで頂いた。◇親鸞聖人七五〇回大遠忌法要は「次世代に」ご縁をつなぐ大切な機会です。何卒御参詣、ご協力の程お願い申し上げます。合掌。

明けましておめでどうござります。5月15日の親鸞聖人
七五〇回大遠忌法要を控え、一段と身の引き締まる元旦の
朝を迎えました。私には三度目の大法要、前二回の大法要
とは大きな違いがあります。それは寺を取り巻く環境
の変化です。各家庭で勤めるお仏事が、どんどん遠ざ
かるような気がします。定住しない時代なので寺に
対する意識も薄れ、少子高齢化でお稚児さん募集
も少数です。「お稚児さんって何？」という若者世代「下
手に世話を焼いて嫌われてもイヤだから」という親世
代。日常生活の中で仏法を伝えることの難しさを
ひしひしと感じています。そんな中で私が実践し
ているささやかな試みがあります。毎日夕方5時の
鐘つきを地域の子供達に開放して久しいのですが、
最近はその人数が増加傾向です。鐘撞き後一同が本
堂に向かって合掌礼拝。最近始めた試みは子供用
聖典の「ちかい」の言葉を代表に続いて唱和すること。
代表になった人はご褒美が余分にもらえる特典。誰も
が代表になりたくてジャンケンで決定します。大人ならば
寺の役員は敬遠し、ちかなのに、実にほぐえましい光景で
す。今も寺とはご縁のなかつた子供達が、放課後境
内に集い、鐘を撞いて合掌し、「ちかい」を唱和すること
で徐々にみ教えが浸透し、お寺でできるささやかな子育て
の支援です。今年も年中無休の「5時のシンデレラ坊守」
として勤めますので、よろしくお願ひ申し上げます。合掌

平成二十八年一月

善正寺坊守 拝